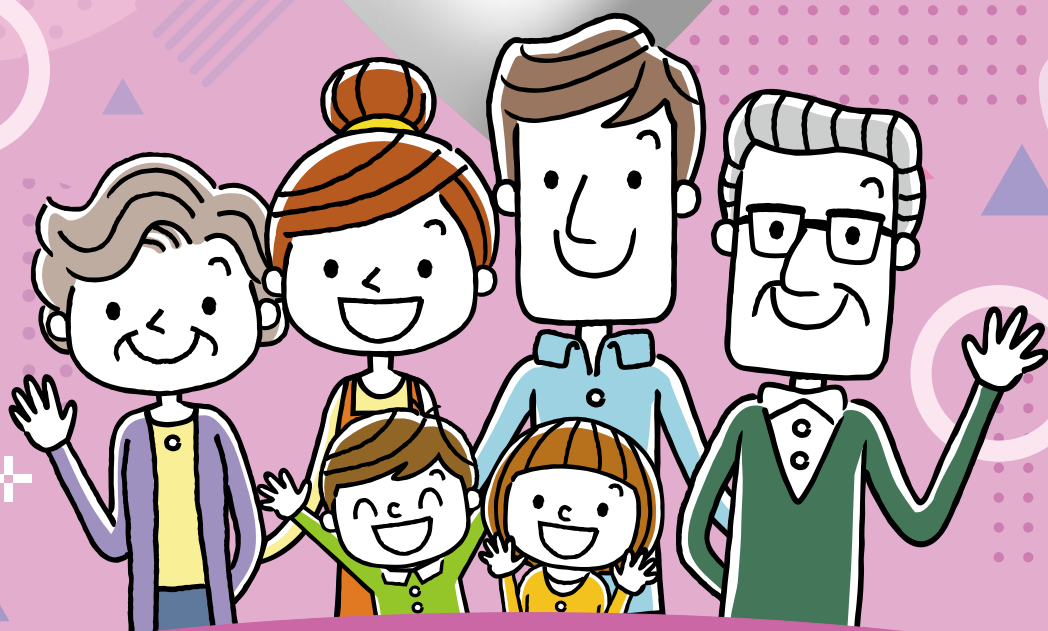


財政の しおり

(かのやの予算)



令和 8 年度版
鹿屋市 総務部財政課

財政って何だろう？

みなさんは「財政」という言葉を聞いたことがありますか？

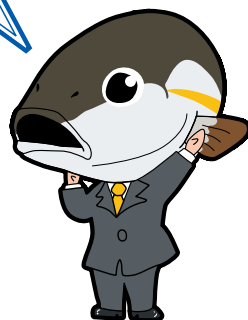
財政とは、私たちが健康で豊かな生活を送れるよう、国や地方公共団体が様々な公共サービスを提供していくために、税金などのお金を集めて、住民のための仕事に必要なお金を支払っていく経済活動のことです。

この「財政のしおり」では、「予算」や「決算」など財政の流れや仕組みのほか、鹿屋市が実際に行っている仕事や財政状況について紹介していきます。

みなさんの生活と深いつながりがある「鹿屋市の財政」について、一緒に学びましょう。

目次

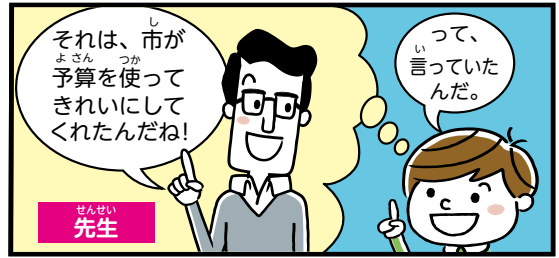
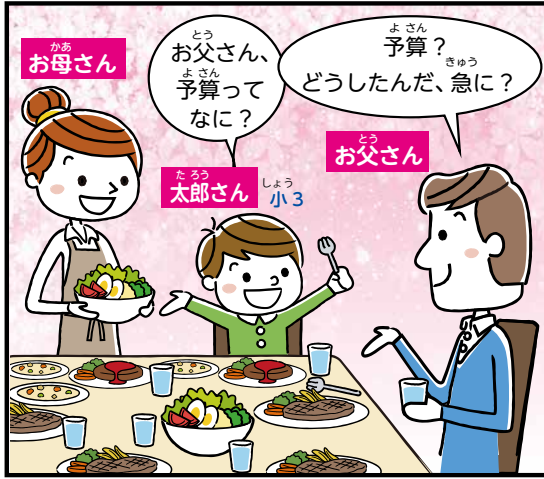
はじめての財政	1	決算のしくみ.....	8
予算のしくみ	2	鹿屋市の決算.....	9
歳入予算	4	決算からわかること.....	10
歳出予算	5	鹿屋市のしごと.....	12
令和8年度の予算	6	主な事業(しごと).....	13
『かのや家』の家計簿	7	財政のギモン.....	18
		財政用語集.....	20



鹿屋市 PR 特命係長
かのやカンパチロウ

はじめての財政

★ある日、太郎さんの家の食卓で…。

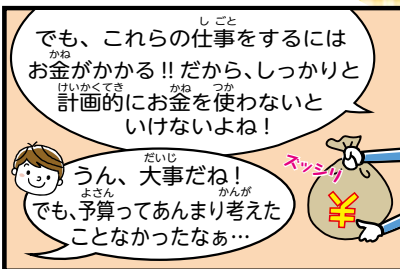


とうがくろ しどう せいび
通学路（市道）の整備

いえ で かいしゅう
家から出るごみの回収



とうがくろ こうえん せいび いえ
通学路や公園の整備、家から出されるごみの処理なども市の仕事なんだよ！



ポイント



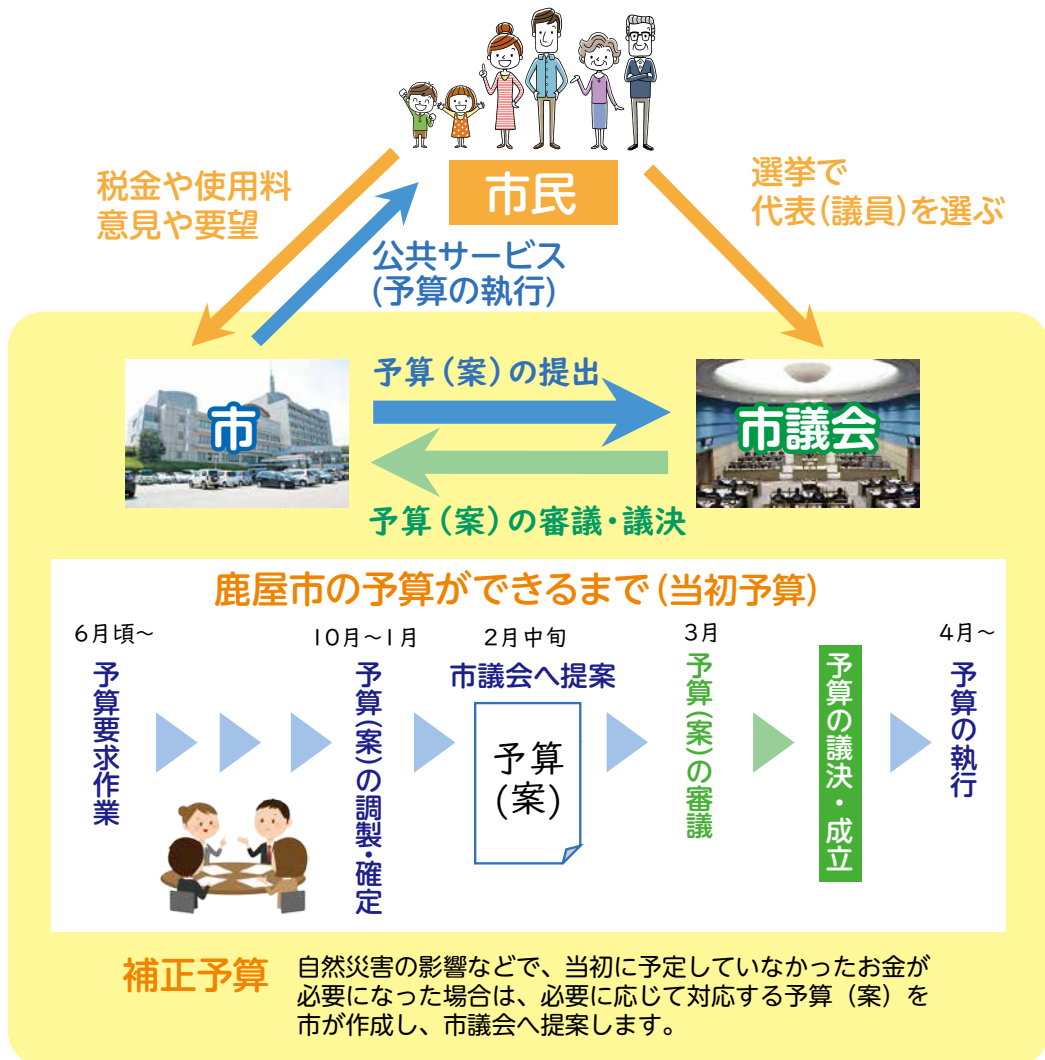
「予算」と「決算」の意味について理解しよう。

予算のしくみ



予算ができるまで

市民の安全・安心な生活を守る活動や暮らしを豊かにするための活動、将来への計画的なまちづくりのために予算案が作られ、市議会へ提案されます。



予算と会計

鹿屋市の予算には、一般会計と特別会計のほか、独立採算による特定の事業を管理する公営企業会計の3種類の会計(財布)があります。

一般会計

福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスに必要なお金を管理する会計。家計に例えるなら生活費に使うお金を出し入れする財布です。

特別会計

特定の目的のための会計。お金の出入りを区別するために一般会計と別にしています。

- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険事業特別会計

公営企業会計

民間企業と同じように、利用者から料金をもらって事業を行っている会計。

- 鹿屋市水道事業会計
- 鹿屋市下水道事業会計

歳入予算 (1年間の収入)

歳入とは、収入のことです。市民のみなさんに納めていただく税金や施設の使用料のほか、国や県から交付されるお金などが主な収入となり、歳入予算として組み込まれます。

歳入予算の内訳

自主財源

市税や施設使用料など、鹿屋市が自主的に集めることができる収入

歳入科目	説明
市税	市民のみなさんに納めていただく税金
分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
使用料及び手数料	各施設の使用料や、証明書交付手数料など
繰入金	市の基金(貯金)からの取崩しなど
寄附金	ふるさと納税などによる市への寄附
その他	財産収入や前年度からの繰越金など

依存財源

道路や施設を建設する時に国や県からもらう補助金や、借り入れる市債など、使い道が定められた収入

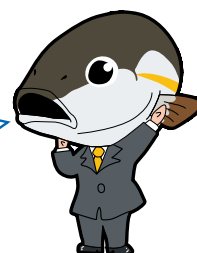
歳入科目	説明
地方交付税	すべての地方公共団体が行うべき事務の、一定の水準を維持するための財源として、国が交付するお金
国庫支出金	市の行政サービスを行うために、国や県から交付されるお金
県支出金	
市債	国や金融機関などからの借入金
譲与税・交付金 (交通安全対策特別交付金を含む)	国や県が集めた税金を各自治体へ再配分する譲与税や交付金など

ポイント



自主財源 の比率が高いほど、自由に使える財源が多い。

鹿屋市は自主財源よりも依存財源のほうが多い状況です。自主財源を増やすことが鹿屋市の重要な課題だね。



歳出予算

(1年間の支出)

歳出とは、支出のことです。歳出予算は、子育てや福祉、道路・学校の整備、災害復旧などの目的に応じて使われます。歳出予算の目的を確認することで、何のために使う予算なのか知ることができます。

歳出予算の内訳(目的別)

議会費



議員の報酬や議会の運営費

総務費



庁舎の管理、税金の徴収、地域振興、防犯対策など

民生費



子ども、高齢者、障がい者の福祉増進など

衛生費



健康管理、ごみ、し尿の処理など

労働費



雇用対策、労働者の福祉向上など

農林水産業費



農業、林業、畜産業、水産業の振興など

商工費



商店街や中小企業の支援、観光振興など

土木費



道路、公園、市営住宅等の維持管理・整備など

消防費



消防業務、災害対策など

教育費



学校の管理運営、整備、スポーツ振興など

災害復旧費



大雨や台風などの災害復旧



公債費



施設整備などで借りたお金の返済

その他



預貯金など

【参考】鹿屋市における歳出予算の内訳(目的別)

※令和8年度一般会計予算より

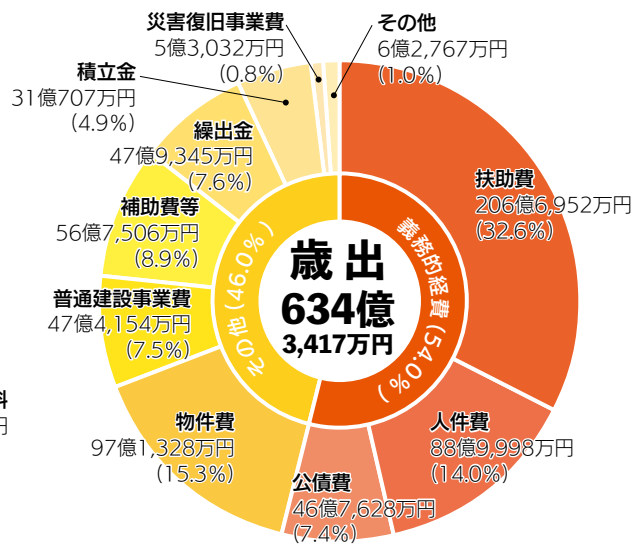
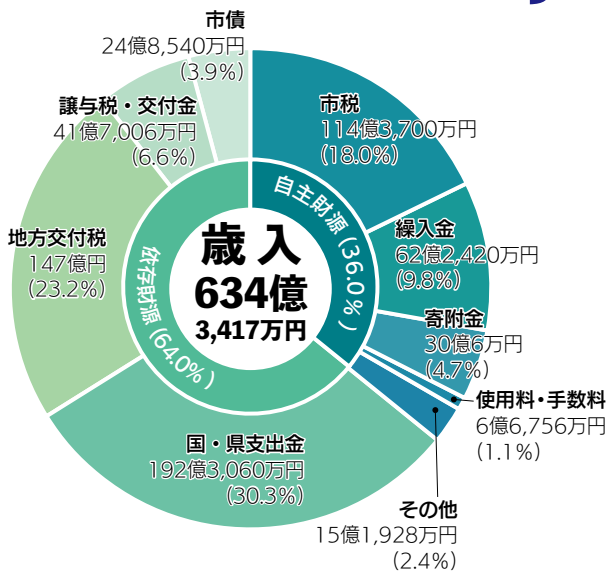
目的	予算額	構成比	目的	予算額	構成比
議会費	2億 8,618 万円	0.5%	土木費	43億 7,394 万円	6.9%
総務費	70億 1,748 万円	11.1%	消防費	17億 1,227 万円	2.7%
民生費	278億 9,633 万円	44.0%	教育費	60億 9,646 万円	9.6%
衛生費	34億 6,338 万円	5.5%	災害復旧費	5億 3,032 万円	0.8%
労働費	8,303 万円	0.1%	公債費	46億 7,628 万円	7.4%
農林水産業費	27億 2,766 万円	4.3%	その他	37億 3,261 万円	5.9%
商工費	8億 3,823 万円	1.3%	合計	634億 3,417 万円	100.0%

※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

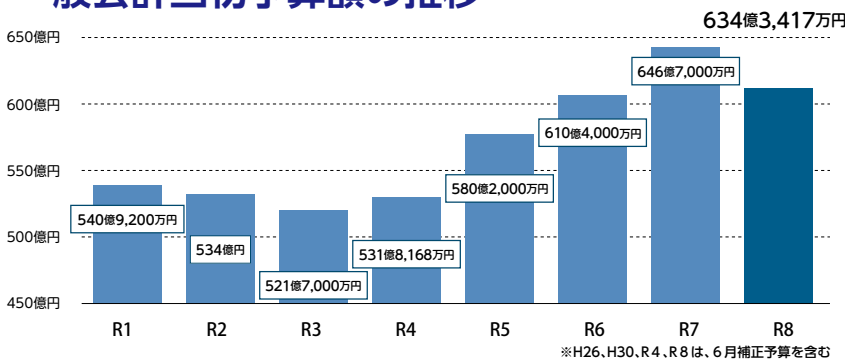
令和8年度の予算

令和8年度一般会計予算(6月補正予算を含む)

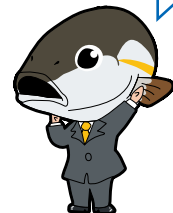
634億3,417万円



一般会計当初予算額の推移



一般会計予算は令和7年度と比べると、12億3,583万円の減額となりました。



令和8年度特別会計当初予算

区分	R 8 予算
国民健康保険事業	107億3,400万円
後期高齢者医療	17億8,700万円
介護保険事業	113億8,800万円
合 計	239億 900万円

令和8年度公営企業会計当初予算

区分	水道事業	下水道事業
収益的收入	17億1,778万円	9億1,572万円
収益的支出	16億7,466万円	8億6,075万円
資本的收入	3,054万円	3億9,245万円
資本的支出	11億2,689万円	7億 776万円

金額は、令和 8 年度一般会計予算の額を 10 万分の 1 にしたものです。



『かのや家』の家計簿

予算について身近に感じてもらうために、鹿屋市の予算を一般家庭の家計に例えて置き換えてみました。 (『かのや家』の家計簿)
収入と支出について、それぞれのイメージをつかみましょう。

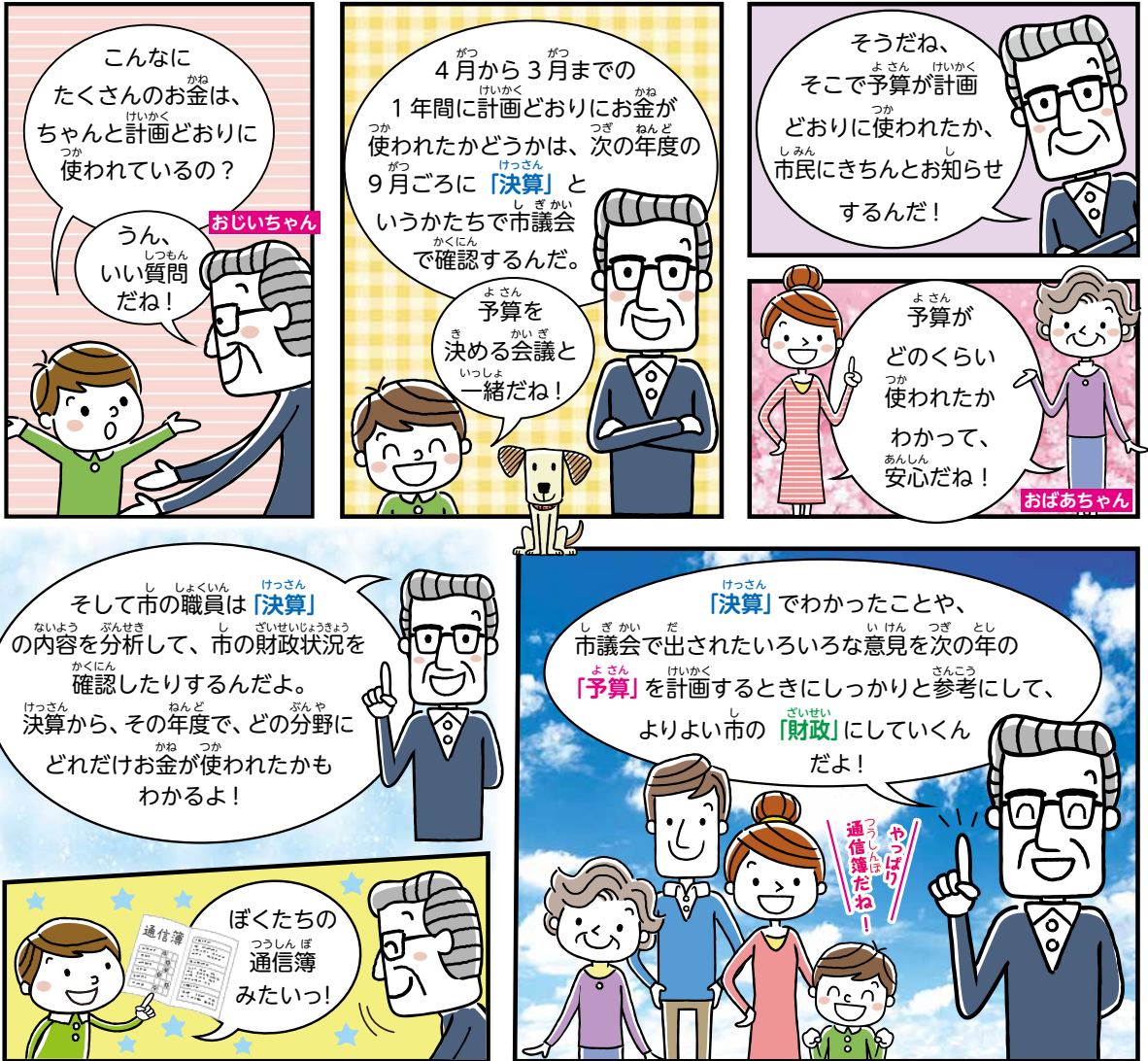
収入

	収入内訳	(市予算上の性質区分)	金額
自主財源	給料	(市税)	114,000円
	雑収入	(使用料及び手数料)	46,000円
	⇒アルバイト代、家賃収入など (分担金及び負担金) など		
	預貯金の取り崩し	(繰入金)	62,000円
	前月の収入の残り	(繰越金)	6,000円
依存財源	親からの援助	(国庫支出金)	192,000円
	⇒使い道の決められたお金	(県支出金)	
	親からの援助	(地方交付税)	189,000円
	⇒自由に使えるお金	(地方譲与税) など	
	借入(ローン)	(市債)	25,000円
収入合計			634,000円
	預貯金の残高	(積立基金の残高合計) 令和 7 年度末現在高	261,000円

支出

	支出内訳	(市予算上の性質区分)	金額
	食費	(人件費)	89,000円
	医療費・教育費	(扶助費)	207,000円
	家のローンの返済	(公債費)	47,000円
	家の増改築	(普通建設事業費)	47,000円
	自然災害による家の補修費	(災害復旧事業費)	5,000円
	光熱水費、日用雑貨	(物件費)	97,000円
	家や車の修繕費	(維持補修費)	5,000円
	町内会、サークル会費	(補助費等)	57,000円
	預貯金	(積立金)	32,000円
	知人に貸したお金	(貸付金)	
	子どもへの仕送り	(繰出金)	48,000円
支出合計			634,000円
	ローンの残高	(市債残高) 令和 7 年度末現在高	359,000円

決算のしくみ



決算の報告と認定

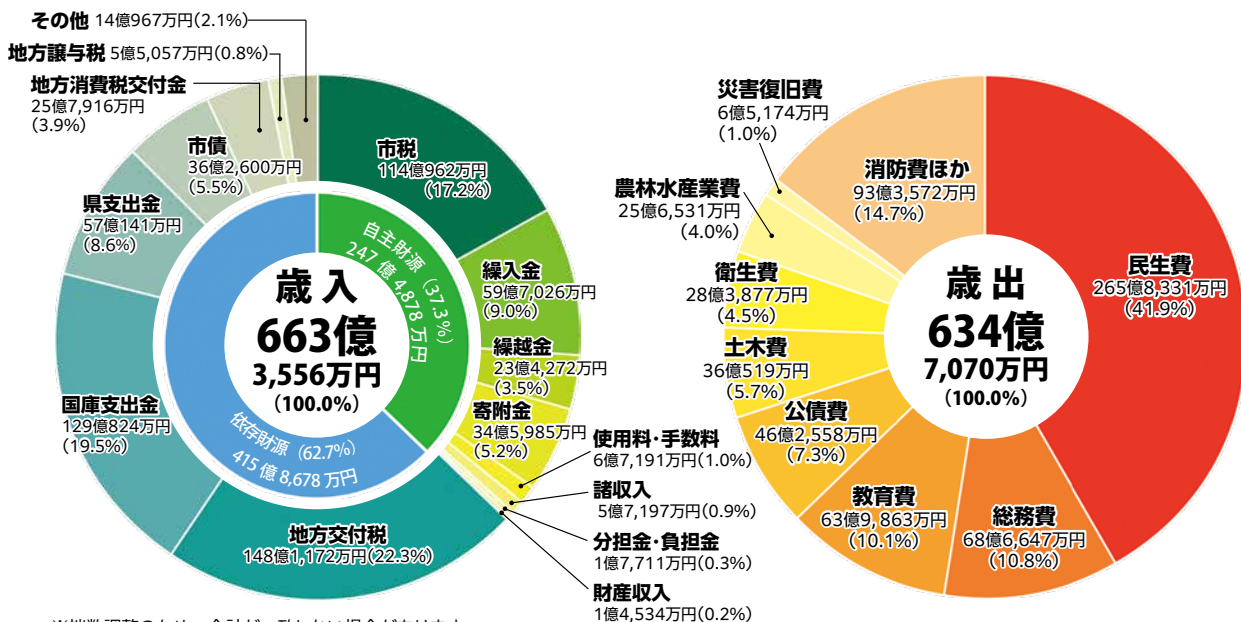
市は、予算に対する1年間の収支の結果をまとめた決算書を作成します。決算書は、監査委員の審査を受けた後、市議会の認定を受けます。認定後は、「広報かのや」や市ホームページなどで決算の内容を市民のみなさんにお知らせしています。



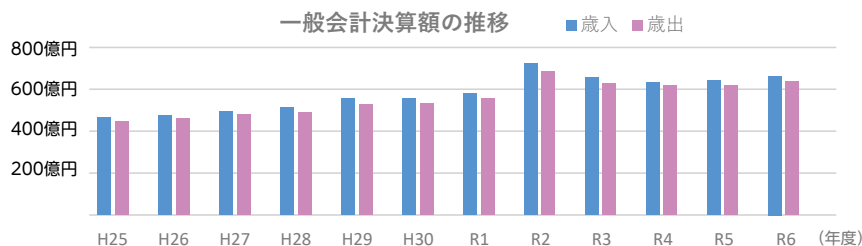
鹿屋市の決算 (令和6年度)

決算では、1年間にどれくらいのお金が入り使われたかについて知ることができます。鹿屋市の実際の決算を見てみましょう。令和6年度の一般会計では、1年間に約663億円のお金が入り、約635億円のお金が使われたことがわかります。

一般会計決算



※端数調整のため、合計が一致しない場合があります。



特別会計と企業会計でも、事業の収支を明確にするため、それぞれの会計で決算が行われています。

特別会計決算

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	115億9,847万円	111億3,514万円
後期高齢者医療	16億1,849万円	16億 620万円
介護保険事業	121億2,111万円	116億5,980万円

企業会計決算

会計名	収入	支出
水道事業	収益的 17億5,355万円	14億4,827万円
	資本的 2,206万円	9億2,831万円
下水道事業	収益的 9億3,736万円	8億3,457万円
	資本的 2億8,601万円	5億8,812万円

決算からわかること

決算では、実際にどのような分野に、どれだけのお金が使われたかを知ることができます。鹿屋市の令和6年度決算を見ると、幅広い分野にお金が使われている中、「福祉・保健・医療」や「子育て・教育」に使われた割合が大きいことがわかります。

分野別に見るお金の使われ方（令和6年度鹿屋市一般会計決算より）

※（ ）は、市民1人あたりの額（令和7年3月31日現在 97,366人）



福祉・保健・医療に

市民の健康増進、予防接種や生活衛生など

176億1,519万円
(180,917円) 27.8%



子育て・教育に

子育て支援、学校教育、市立学校（小中学校、鹿屋女子高、看護専門学校）の管理運営、保育所や幼稚園などの整備・運営支援、生涯学習の推進、文化財の保護、青少年育成など

151億1,513万円
(155,240円) 23.8%



行政の運営等に

庁舎等の管理、市の計画策定、選挙、監査、議会の運営、基金の積立など

115億6,991万円
(118,829円) 18.2%



道路や学校の建設などに活用した市債の返済に

事業を実施するために借り入れた市債の償還

46億2,558万円
(47,507円) 7.3%



道路や住宅、公園など計画的なまちづくりに

道路や河川、都市公園、市営住宅等の整備・維持管理、都市計画など

41億4,149万円
(42,535円) 6.5%



産業振興や観光の推進に

企業誘致・立地の促進、商工業の振興、雇用の促進、観光PRなど

27億1,015万円
(27,835円) 4.3%



農林水産業の振興に

農林水産業の経営体制・生産基盤の強化、農作業の省力化・生産性向上、担い手確保など

25億8,830万円
(26,583円) 4.1%



防災、災害復旧に

消防、防災や災害復旧など

19億5,871万円
(20,117円) 3.1%



地域の活性化に

交通対策、スポーツ振興、地域づくりや市民活動支援など

16億1,389万円
(16,575円) 2.0%



環境対策に

ごみの処理や減量・リサイクル、不法投棄防止対策など

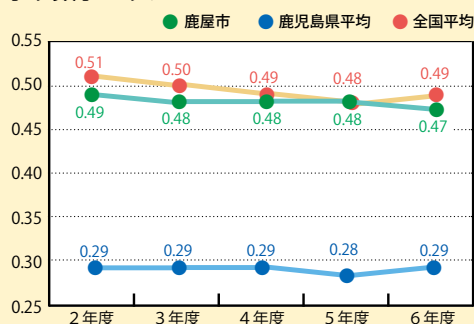
15億3,235万円
(15,738円) 2.4%

データで見る鹿屋市の財政状況

決算の結果をもとに、市の財政の豊かさを示す「財政力指数」などの財政指標が算出されます。これらのデータから、各地方公共団体の財政状況を知ることができます。

財政力指数 0.47

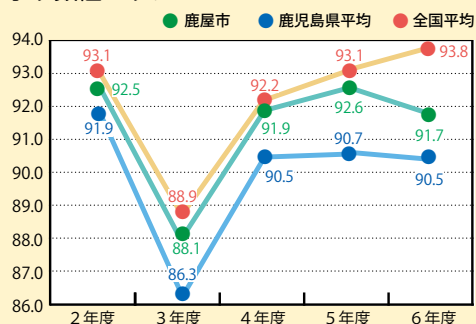
地方公共団体の財政力を判断する指標。「基本的な財政運営を行うための経費」を「市税などの独自の収入」でどれだけ賄えているかを示す数字です。



一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされています。

経常収支比率 91.7%

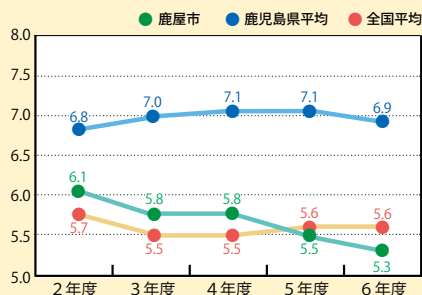
財政構造の弾力性を判断する指標。毎年度経常的に支出される経費に経常的に収入される経費がどの程度充当されているのかを示す数値です。



比率が低いほど政策的・臨時的にお金を支出する余裕のある状態を示します。

実質公債費比率 5.3%

借入金の返済額等の大きさから、資金繰りの危険度を図る指標。家計に例えると、1年間の年収に対する借金返済額の割合で、数値が低いほど財政状況は健全であるといえます。



健全化判断比率 & 資金不足比率

「健全化判断比率」は財政の健全度を診断する4つの指標です。令和6年度はいずれも国が定める基準をクリアしており、鹿屋市の財政は健全な状態にあるといえます。

指数項目	令和6年度	令和5年度	内 容
実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	一般会計等の赤字の程度を示す比率
連結実質赤字比率	— (黒字)	— (黒字)	全ての会計の赤字の程度を示す比率
実質公債費比率	5.3%	5.5%	収入に対する公債費の占める割合を示す比率
将来負担比率	— 将来負担なし	— 将来負担なし	実質的な借金残高から将来財政への圧迫度を示す比率
指数項目	令和6年度	令和5年度	内 容
資金不足比率	— 資金不足なし	— 資金不足なし	公営企業会計ごとの資金不足額の事業規模に対する比率

鹿屋市のしごと

ここからは、令和8年度に鹿屋市が行う主な事業(しごと)について紹介していきます。

基本的な考え方

令和8年度は、第3次鹿屋市総合計画の基本構想に掲げるまちづくりの将来像

“ひとが元気！まちが元気！「みんなで創る健康都市 かのや」”

の実現に向け、総合計画に基づいた施策・事業を着実に推進する予算として編成しました。なかでも、以下の5つの視点に立ち、重点的な取組を進めます。

基本目標 1

やってみたい仕事広がるまち

農林水産業の振興、商工業の活性化、雇用の促進への取り組み



基本目標 2

交流で賑わうまち

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の促進

基本目標 3

こども・若者の未来を創るまち

こども・若者を育む環境の充実、未来を拓く教育の充実



基本目標 4

安心して暮らし続けられるまち

快適な生活基盤づくりや安全で安心な生活の実現、自然環境にやさしいまちづくりの推進

基本目標 5

ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

地域福祉の充実、健康づくり・生きがいづくりの推進、共生協働・コミュニティ活動の推進



主な事業（しごと）

これらの事業は、第3次鹿屋市総合計画で掲げる5つの基本目標と市政運営に位置付けられています。

基本目標 1 やってみたい仕事広がるまち

農林水産業の振興、商工業の活性化、雇用の促進への取り組み

pick Up 新規 市農業公社の研修用ハウスの整備

1億882万円



農業の中核的な担い手となる新規就農者や農業後継者の確保・育成を図るため、市農業公社の研修用ハウスを整備し、研修受け入れ体制の充実を図ります。

【農政課】

pick Up 新規 肥育素牛の導入支援

4,260万円



子牛価格の高騰による肉用牛肥育農家の負担軽減を図るため、肥育用子牛の導入支援を拡充し、肉用牛生産基盤の強化とブランド力向上を推進します。

【畜産課】

pick Up 新規 地方卸売市場を活用した販路拡大

1,942万円



地方卸売市場に地域商社業務を委託し、市場調査や営業活動で販路拡大を図るとともに、本市を拠点とした農林水産物等の新たな物流・商流づくりを推進します。

【農政課】

pick Up 新規 創業・事業立ち上げへの支援

2,287万円



創業に係る経費の一部を支援し、創業しやすい環境を整備するとともに、地域に根ざした事業活動の創出や継続を促進することで、商工業の振興及び活性化を図ります。

【産業政策課】

pick Up 新規 水利施設管理強化事業

2,581万円



老朽化が進んでいる笠野原地区畑地かんがい施設の漏水補修や安全対策等を行うことで、施設機能の適正な発揮を図るとともに、水利用による高収益作物の営農を推進します。

【農地整備課】

基本目標 2 交流で賑わうまち

地域資源を生かした観光振興、スポーツによる交流促進、移住・定住の促進

pick 戦後80年特別企画展の一部展示



257万円

戦後 80 年事業で収集した貴重な資料の一部展示などを行うことにより、本市に残る戦争遺跡や太平洋戦争との関わり等について情報発信を行うとともに、本市ならではの平和ツーリズムを推進します。

【観光 PR 課】

pick 移住・定住促進支援金



移住者の皆さん

1,410万円

移住・定住を推進するため、県外からの移住に対する支援及び移住希望者の就業支援の充実を図ります。

【地域づくり推進課】

pick スポーツ施設整備事業



5,291万円

鹿屋市武道館の剣道場の床修繕や柔道場の畳の更新など、スポーツ施設の設備整備や修繕等を実施します。

【スポーツ振興課】

pick 新たなシティプロモーション活動の展開



2,500万円

本市の認知度向上や地場製品のブランド力強化を図り、移住促進や誘客につながる効果的なシティプロモーションを展開します。

【観光 PR 課】

pick 新たな観光戦略の策定



529万円

地域資源を活用した観光まちづくりを推進するため、地域一体となって、本市の特性を生かしたツーリズムに取り組みます。

【観光 PR 課】

基本目標 3 こども・若者の未来を創るまち

こども・若者を育む環境の充実、未来を拓く教育の充実

保育料の完全無償化

1億9,522万円

0歳児から2歳児までの保育料を無償化し、すべての児童を対象とした保育料無償化を実施します。

【こども政策課】



保育所等のICT化費用の助成

1,153万円

保育所等が、保育士等の業務負担の軽減を図るため、ICT機器等を導入する際の経費の一部を助成します。

【こども政策課】



児童生徒・教師用タブレットの更新

1億8,901万円

児童生徒一人ひとりの学びの個別最適化の推進を図るための学習用端末（タブレット）を更新します。

【学校教育課】



学校体育館の空調設備整備

526万円

学校体育館に空調設備を設置し、児童生徒が安心して学習・活動ができる環境の整備を推進します。

【教育総務課】



鼻腔内噴霧接種の助成

215万円

子どものインフルエンザ予防接種助成のうち、鼻腔内噴霧接種助成額を引き上げます。

2,000円 / 回 → 4,000円 / 回

【健康増進課】



—基本目標 4 安心して暮らし続けられるまち

快適な生活基盤づくりや安全で安心な生活の実現、自然環境にやさしいまちづくりの推進

地域防犯対策の強化



犯罪抑止及び安全・安心な地域づくりを図るため、主要交差点等へ防犯カメラを設置します。

【安全安心課】

282万円

みんなで取り組む道路環境の改善



道路の除草・伐採等の取組強化や道路愛護活動への支援充実を図り、市民と協働した安全で良好な道路環境づくりを推進します。

【道路建設課】

7,993万円

コート札元台市営住宅の改善工事



鹿屋市営住宅長寿命化計画（R5～R14）に基づき、安全性の向上など住宅の維持改善を行い、快適な居住環境の確保を図ります。

【建築住宅課】

4億7,315万円

学校周辺の区画線の整備



通学路の安全対策を図るため、学校周辺の現状調査に基づき、道路の区画線を補修します。

【道路建設課】

1,200万円

個人向け太陽光発電設備・蓄電池導入の支援



個人向け再生可能エネルギーの導入を推進するため、個人住宅の屋根に設置する太陽光発電設備や蓄電池設備の導入費用の一部を助成します。

【環境政策課】

7,466万円

基本目標 5 とともに支えあい、いきいきと暮らせるまち

地域福祉の充実、健康づくり・生きがいづくりの推進、共生協働・コミュニティ活動の推進

pick 新視 トップレベルスポーツと学びの機会創出

393万円



- ・国内最高峰のプロ卓球リーグ「T リーグ」公式戦を開催します。

【スポーツ振興課】

- ・著名な専門家等によるリカレント教育講演会を開催します。

【生涯学習課】

pick 新視 台湾交流を通じた国際理解の促進

295万円



児童生徒の台湾派遣人数を拡充し、国際理解を深める機会を充実します。

【学校教育課】

pick 新視 多文化共生推進事業

70万円



地域の外国人との交流を目的とした交流カフェやワークショップ、セミナー開催を支援します。

【地域づくり推進課】

pick 新視 新たな地域おこし協力隊の配置

1,100万円



多文化共生社会の実現に向け、在留外国人の日本語学習支援や相談支援を行う「多文化共生コーディネーター」を配置します。

【地域づくり推進課】

pick 新視 RSウイルスワクチン予防接種費用の助成

2,022万円



乳児が、RSウイルスに感染した際の重症化を予防するため、妊婦へのワクチン予防接種費用を助成します。

【健康増進課】

財政のギモン

予算の4割を占める

Q

民生費って何に使われるの？

A

民生費とは、高齢者福祉や医療、保育費などに使われるお金のことで、市の一般会計予算の約4割を占めています。民生費は、安心して子育てをするための環境整備や、障がい者の日常生活及び社会生活を支援するための取組、高齢者が充実した生活を送るための支援などを中心に使われています。

《令和8年度一般会計予算》



子育て支援

約119億円

- 保育所等の運営費
- 保育料の軽減
- 子ども医療費の助成
- おむつ等助成券の配付 など



高齢者支援

約46億円

- 介護保険、後期高齢者医療事業に要する経費（特別会計繰出金）
- 高齢者等訪問給食サービスの実施 など

※この他、特別会計において高齢者支援を行っています。
（後期高齢者医療 約18億円、介護保険 約114億円）



障がい者支援

約74億円

- 自立を支援する各種障がい福祉サービスの実施など



その他

約40億円

- 国民年金・国民健康保険事業に要する経費や生活保護費など

Q

私たちの教育に使われている教育費はどうなっているの？

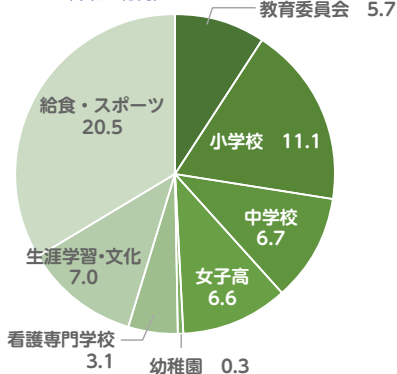
A

教育費とは、教育委員会の運営や、市立の小中学校・女子高、看護専門学校で使う物品の購入や修繕、校舎の建設や改修などの学校の管理のほか、文化・スポーツの振興などに使われているお金のことです。

教育費（約61.0億円）の内訳

（令和8年度）

（単位：億円）



小学校の管理運営にかかる予算（総額 11.1 億円）



○児童1人あたりの教育費（令和8年度小学校費）

年間 約193,800円

月額 約16,100円

※鹿屋市内の児童数 5,738 人（令和8年5月1日現在）

中学校の管理運営にかかる予算（総額 6.7 億円）



○生徒1人あたりの教育費（令和8年度中学校費）

年間 約217,800円

月額 約18,100円

※鹿屋市内の生徒数 3,060 人（令和8年5月1日現在）

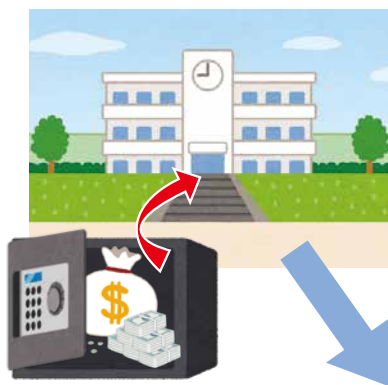
Q

どうして借金（市債）をするの？

A

学校や道路などの公共施設を整備するには、一時的に多くのお金が必要です。この費用をその年の収入だけで賄おうとすると、他の必要な公共サービスに使うべき費用が足りなくなります。公共施設は将来の市民も利用することから、世代間での負担の公平性を図るために、市債（借金）を活用しています。

もし、学校の建て替えに必要なお金を一度に支払ってしまうと…



学校の運営管理、通学路の整備、ごみの回収など他の仕事に必要なお金が足りなくなるかもしれません。

市債を使わないと…



市債を使うと…



その年の市民にだけ、大きな負担をお願いすることになってしまいます。



財政用語集

	用語	用語説明
歳入に関すること	一般財源	市税や地方交付税など、使途が特定されずに市が自由に使い道を決められる収入のこと。
	特定財源	使い道があらかじめ決められている収入のこと。国から交付される国庫支出金や県から交付される県支出金、市営住宅や市施設の利用率など。
	市税	市に納められる税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など。
	地方交付税	地方税収の差などを調整するために、財源が足りない地方公共団体に対して国から交付されるお金。「普通交付税」と「特別交付税」があります。
	国庫支出金	市が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。
	県支出金	市が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金。
歳出に関すること	義務的経費	一般会計の歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つを合わせたもの。毎年支出が必要となる固定的な経費。
	人件費	職員の給料や、退職手当などを合計したもの。
	扶助費	児童手当、生活保護、保育所・認定こども園などの運営、医療費の援助など、主に福祉や医療に必要な費用。
	公債費	公共施設の建設などのために借り入れした市債の返済などに要するお金。元金と利子、市債発行や返済にかかる手数料なども含む。
その他	基金	自治体の貯蓄のことで、それぞれ目的をもって積立・取崩が行われています。 【鹿屋市の主な活用基金】 ふるさと鹿屋応援基金、地域振興基金、財政調整基金など
	市債	長期間にわたって使われる道路や公園など、公共施設の整備や保全・更新の事業のために借り入れるお金。 【参考】令和6年度末の市債残高：349億4,665万円
	ふるさと納税	自分が応援したい自治体に寄附を行うと、特産品等の返礼品や税額控除を受けられる制度です。鹿屋市では、全国から集まった寄附金を「ふるさと鹿屋応援基金」として積み立て、次年度に地域活性化、健康、福祉、環境保全、教育・文化・スポーツ振興など、市の様々な事業に活用しています。 【参考】鹿屋市のふるさと納税寄附金額 34億5,481万円（令和6年度）



▲ふるさと納税について
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市の財政について調べる



鹿屋市行政財政将来ビジョン
(R5 ～ R14)



▲「鹿屋市の財政状況」
(鹿屋市ホームページ)

鹿屋市の情報を知る



▲鹿屋市総合アプリ「かのやライフ」で、市からのお知らせやイベント情報など発信しています。

